



## 活動報告

ページID : 0386590 掲載日 : 2022年5月9日更新

### 緊急情報

2020年3月17日更新  
[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報\(特設サイトへ\)](#)

令和3年度普及・公開事業の紹介

### 半田市立乙川東小学校に「土器・ど・キット」の貸出を行いました。

調査研究課の城ヶ谷です。

3月8日に半田市立乙川東小学校に「土器・ど・キット」と拓本道具の貸出を行いました。

「土器・ど・キット」とは、実際に遺跡から出土した縄文時代から江戸時代までの各時代の土器の破片をセットにしたもので、それぞれの土器を観察し、時代順に並べたりすることで、**各時代の土器の特徴や発達過程等を学ぶことができる教育コンテンツ**です。

乙川東小学校では、「土器・ど・キット」と拓本を利用して5年生の特別授業が行われました。授業を担当された教頭先生は、「今回の授業は6年生の歴史学習に向けたもので、**各自タブレットを駆使しながら、グループで話し合い、熱心に取り組んでいました。**」とおっしゃっていました。

また、本物の弥生土器を使った**拓本採取にもチャレンジ**していただきました。

今回の体験が6年生での歴史学習に役立っていただければ幸いです。



授業風景



当センターでは「土器・ど・キット」（写真右）の貸出を行っています。現在8セットの「土器・ど・キット」を2組準備しています。最大16グループまで使用可能です。



「土器・ど・キット」の貸出以外にも、**土器を持参して行う出前授業**も実施しています。本物の土器を用いた授業をお考えの先生は、ご相談ください。

連絡先：調査研究課 TEL：0567-67-4164

## 「体感！しだみ古墳群ミュージアム」シダミュー講座が実施されました

調査研究課の城ヶ谷です。

2月15日、当センターでシダミュー講座『発掘調査ってなに？ -室内整理編-』が実施されました。

今回の講座は名古屋市の体感！しだみ古墳群ミュージアムが企画されたもので、**発掘調査が終了した後、出土遺物がどのようにして整理され、保存・活用されるかを学ぶ**という内容です。

講義では、まず、**洗浄から接合、実測、拓本、写真撮影等を経て報告書刊行・遺物収納に至る整理作業の流れ**について説明しました。後半では遺物の主体である**土器の変遷**についてお話ししました。

その後、実際に**遺跡から出土した各時代の土器を手にとって、時代順に並び替える演習**をおこなっていただきました。

講義の後、館内をご案内しました。館内では展示室の他に（公財）埋文センターが実施している**整理作業、保存処理作業**を見たり、埋文センター職員から**科学分析の方法等**についての説明を聞いたりしました。参加者のみなさんは各所でメモをとるなどとても熱心に見学されていました。

**発掘調査は現場が終わってからも大変で、報告書作成まで地道な作業が続いていきます。しっかりと記録を残し、後世に伝えていくことが重要だ**と考えています。



整理作業の方法などについての講義

各時代の土器の並び替えにチャレンジ！



展示品の解説



遺物整理作業の見学

**弥富市立栄南小学校のみなさんが施設見学に来てくれました**

調査研究課の城ヶ谷です。

12月15日に**弥富市立栄南小学校3年生のみなさん**が校外学習の一環で施設見学に来てくれました。

最初にスライドを用いて遺跡や遺物について説明をした後、実際に遺跡から出土した**土器・石器**を手に取って見てもらいました。石器が意外に重いことにびっくりした様子でした。

その後、館内各所を案内しました。

**科学分析室**では、遺跡の土から出土した当時の**昆虫の羽やその顕微鏡写真**を熱心に見ていました。

資料管理閲覧室では「**愛知の城**」をテーマにした展示を行っていますが、豊田市**城山城跡**（しろやまじょうあと）で見つかった**薬研堀**（やげんぼり）の模型の中に入って、**堀の中を体験**してもらいました。

また、**整理室**では設楽町の遺跡から出土した**縄文土器などの遺物の整理作業**に興味深く見ていました。

短い時間でしたが、みなさんは**時おりメモを取りながら、熱心にかつ楽しそうに見ていました**。

後日、感想文をいただきました。その中で、

「はじめて土きをさわって、ざらざらしているものや ちよつとつるつるするものなど、いろいろあつてびっくりしました。」

「土器のかけらをつなげ合わせてもとの形にするのはたいへんそうだと思いました。」

「むかしの人がこの土器を使ってどんな生活をしているのか気になりました。」

「石器についてせつめいを分かりやすく話してくださつたので、きょうみがわきました。」など、いろいろなことに興味をもっていただけたようです。

今回、初めて見たり、触ったりしたものが多かつたと思いますが、これから**歴史を学習した時に、また思い出してほしい**と思います。



遺跡や遺物についてお話ししました。



土器や石器に触れてもらいました。



遺跡の土の中から出てきた昆虫の羽に興味津々です。いろいろな時代の展示品があります。





## 県立知立東高等学校で出前授業を行いました

調査研究課の城ヶ谷です。

12月13日に県立知立東高等学校で出前授業を行いました。

2年生普通科日本史選択者3クラス127名を2クラス2時限に分けて実施しました。

今回は「ものづくり大国あいちの源流～土器から歴史を読み取る～」というテーマで、愛知県の特徴である陶磁器生産の変遷を通して、社会や流通の変化を読み取ることを目的に実施しました。

授業について、「愛知のことだけではなく、全体の歴史と愛知の歴史を対比して聞くことができ楽しかった」とか「出来事じゃなくても、歴史はおもしろいだなと思いました」などの感想が聞かれました。

授業の最後に、持参した縄文時代から江戸時代までの土器を実際に手にとって、時代順に並べる演習を行いました。短い時間ではありましたが、生徒のみなさんにはとても意欲的に、また楽しそうに取り組んでいただけました。

今回の出前授業で、郷土史の理解や学ぶことの楽しさを知ることについて、少しでも役に立てれば幸いです。



愛知県の窯業生産の動向について概説しました。



愛知県の窯業生産は約1600年前に始まります。



各時代の土器を時代順に並べます。



手触りはどうかな？

## 葛飾区郷土と天文の博物館へ遺物の貸出を行いました

調査研究課の城ヶ谷です。

11月1日葛飾区郷土と天文の博物館へ遺物の貸出を行いました。貸出遺物は清須市清洲城下町(きよすじょうかまち)遺跡から出土した漆器(しつき)、卒塔婆(そとうば)、箸(はし)、折敷(おしき)です。

清須城は、文明10(1487)年に守護所が移転してきたことで尾張国の中心地となりました。弘治元(1555)年以降は織田信長が那古野城から移って大改修を加えた後、本拠として居城しました。

本能寺の変以降は、織田信雄が入り、天正14(1586)年に大改修を行います。この年を境にして清洲城下町遺跡は前期と後期に分けられています。



清洲城下町遺跡は中央を南北に**五条川**が流れています。五条川は何度か流路を変えており、発掘調査をすると**旧流路跡**がよく見つかります。このような流路や堀跡、溝跡などから**多量の漆器**が出土しており、**全国的にも良好な資料**として知られています。

今回お貸した漆器の一部は**旧流路 (NR4001)** から、**永正5 (1508)** 清洲城下町遺跡出土漆器椀

**年銘のある卒塔婆** (写真下中央) を伴って出土したものです。この頃の清須城は尾張下四郡を支配する**尾張守護代清須織田氏 (大和守系)** の居城で、織田信長の祖父**織田信定**も清須三奉行の一人として守護代を支えていました。漆器のなかでも**年代がわかる資料**として貴重です。

お貸した遺物は**12月19日**まで東京都葛飾区の**葛飾区郷土と天文の博物館**でご覧になれます。 → 終了しました。



清洲城下町遺跡 旧流路 (NR4001)出土漆器・卒塔婆

## 秋の特別公開2021を開催しました

調査研究課の城ヶ谷です。

今年度も11月4日 (木曜日) から11月12日 (金曜日) まで9日間「**秋の特別公開2021**」を開催しました。

今回は「**戦国期を彩る逸品**」というテーマで、瀬戸市**桑下城跡**から出土した室町時代の和鏡「**菊花(きくか)双鶴(そうかく)鏡(きょう)**」を始め、**戦国期の城館**から出土した**金属製品・木製品**を展示しました。

同時に (公財) 埋蔵文化財センターによる「**発掘された愛知の城**」展も開催されました。

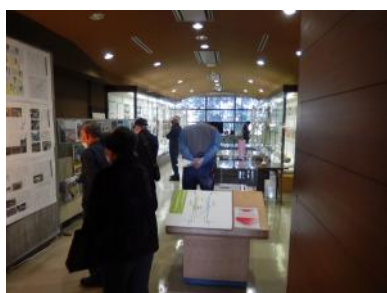
**11月6日・7日 (土・日曜日)** には**特別開館**を行い、**拓本体験**を実施しました。拓本は初めてという方がほとんどでしたが、**皆さん楽しそうに取り組んでいただけました。**

また、(公財) 埋蔵文化財センターによる新作ゲーム「**びっくり! まいぶん やとみ城**」も行われ、子供たちの歓声が絶えませんでした。

期間の後半には新聞にも取り上げていただき、県内外からたくさんの方に来ていただきました。**ご来場ありがとうございました。**



展示：菊花双鶴鏡 裏の文様もきれいです。



お城のパネルやジオラマも作られています。





拓本体験：慎重に墨を打っていきます。



新作ゲーム輪投げ：いくつ城を落とせるかな？！

## 尾張地区地理歴史・公民科教育研究会地理歴史部会の先生方が施設見学に来られました

調査研究課の城ヶ谷です。

10月12日に尾張地区地理歴史・公民科教育研究会地理歴史部会に所属されている高等学校の先生方が研究会の巡検で施設見学に来られました。

最初に「遺跡の調査について～考古学から歴史をまなぶ～」というテーマで、発掘調査や考古学の方法と土器・陶磁器の発達についてお話をしました。

その後、ランダムに置いてある縄文時代から江戸時代までの各時代の出土土器・陶磁器を時代順に並べるとい実習に取り組んでいただきました。普段、図説等で見ている土器を実際に手に取って、重さや手触りなどを確認することができたと、とても好評でした。

施設見学では、整理室で実際に行われている縄文土器や土師器の接合、復元作業等を見ていただきました。また、木製品や金属製品を収蔵する特別収蔵庫、県内各地から出土した遺物コンテナ一万箱以上を収蔵する収蔵庫にもご案内しましたが、収蔵する遺物の量に驚いておられました。

その他、科学分析室で行われている土層に含まれる花粉、微化石や昆虫の分析、鉄器のX線撮影などについて、（公財）埋文センター職員の方から説明していただきました。

先生方はとても熱心にご覧になられ、たくさん質問もいただきました。なかなか、遺物をじっくり見る機会が無いので、いろいろなことを見聞きすることができてとても良かった。学校に帰ったら生徒たちにも話をしたいとおっしゃっておられました。



講義：考古学や土器に関するお話です



演習：土器の時代を当てるのは難しい！？



整理室：とても緻密な作業です



科学分析室：遺跡周囲の環境復元に取り組んでいます

## 大府市歴史民俗資料館へ遺物の貸出をおこないました

調査研究課の城ヶ谷です。

9月30日、**大府市歴史民俗資料館**へ遺物の貸出をおこないました。貸出遺物は稲沢市**一色青海**（いっしきあおかい）遺跡はじめ7遺跡から出土した**弥生時代から古墳時代初め土器**です。

弥生時代後半から古墳時代にかけて、愛知県では**パレススタイル土器**や**S字甕**、**円窓付土器**（まるまどつきどき）、**手焙り形土器**（てあぶりがたどき）など特色のある土器が作られます。

右の写真は、**一色青海遺跡**から出土した弥生時代の**円窓付土器**（写真）です。円い穴は何のために開けられたのか？

… まだわかっていません！



一色青海遺跡は**全国有数の規模**を持つ**弥生時代の大型掘立柱建物**が見つかるなど、集落と墓域で構成された**弥生時代の拠点的な遺跡**です。

今回お貸した遺物は**令和3年12月12日（日曜日）**まで実施されている大府市歴史民俗資料館企画展示「**古墳時代初頭の知多半島**」で展示されています。

ぜひ**愛知県の特色ある土器たち**をご覧ください。

→ 終了しました。

## 岡崎市美術館へ遺物の貸出をおこないました

調査研究課の城ヶ谷です。

9月10日、**岡崎市美術館**へ遺物の貸出をおこないました。貸出遺物は岡崎市**西牧野**（にしまさきの）遺跡から出土した石器（写真）です。

西牧野遺跡は平成21年度・22年度に第二東名高速道路工事に伴い、約38,000平方メートルが発掘調査されました。調査では**後期旧石器時代の石器が4000点以上**出土しましたが、県内でこれだけ良好な資料がまとまって出土した例はありません。

今回、貸し出した遺物は、約2万5千年前の**ナイフ形石器**（右の写真）と**石核**（せきかく）です。写真で白っぽく見える石器（上段左3点）の石材は**凝灰岩**

（ぎょうかいがん）、残りの黒っぽく見える石器の石材は**黒曜石**（こくようせき）です。いずれも側縁はとても鋭利で、まさにナイフです。

黒曜石は県内では産出しないので、県外から搬入されたこととなります。産地として近いのは**長野県和田峠**ですが、直線距離にしても200 kmはあります。どのようにしてこの地にもたらされたのでしょうか。

今回貸し出した遺物は**10月9日（土曜日）**から始まった岡崎市美術館特別企画展「**至宝－燦めく岡崎の文化財**」で展示されています。ぜひご覧ください。

→ 終了しました。

## 令和3年度高校生のための考古学サマーセミナーを実施しました

調査研究課の城ヶ谷です。

8月5日（木曜日）に**高校生のための考古学サマーセミナー**を開催しました。

セミナーの内容は以下のとおりです。

- 講座 1 : 「考古学を知る ～発掘調査の概要、考古学の方法、考古学をめざすには～」  
施設見学 : 発掘調査のその後を考える  
講座 2 : 「遺物を知る ～出土した土器から歴史を考える～」  
考古学実習 : 「遺物に触れる ～土器の拓本を採る～」



講座1では**発掘調査**はどのようにして行われるのか、**考古学**で遺跡の年代をどのようにして**推定**するかなどについて概説しました。また、**考古学**や**歴史**を活かした**進路**のあり方などについてもお話をしました。

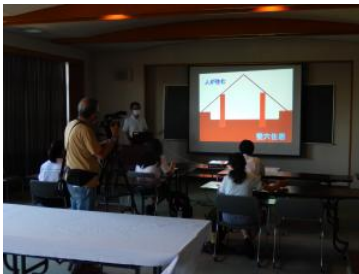
施設見学では、展示施設の他に**整理室**で行われている**土器**の接合作業を見たり、木製品・金属製品などを保管している**特別収蔵庫**、**科学分析室**、**大収蔵庫**など普段は公開していない施設も見学したりしていただきました。参加者のみなさんは初めて見る作業や多彩な遺物に興味を持ち、職員の説明を熱心に聞いたり、質問をしたりしていました。

講座2では**愛知県**における**土器**・**陶磁器**の発達過程について講義を行い、**各時代**を通じて、**愛知県産**の**焼き物**が**重要な役割**を果たしていたことを概説しました。その後、縄文時代から江戸時代までの出土遺物を手に取って時代ごとに並べる演習をしてもらいました。

考古学実習では**朝日遺跡**から出土した**弥生土器**の**拓本**を採ってもらいました。作成した拓本はラミネートして、**オリジナルのしおり**にしました。

参加者のみなさんからは「**教科書**や**図録**で見た**石鏃**や**石包丁**を見たり、触ったりすることができて、**とても嬉しかった**」とか「**将来**、**考古学**関係をもっと**学んでみたい**」などの感想が聞かれ、一日を通じて歴史や考古学にかかわる様々なことやものに興味・関心を持って取り組んでいただけたようです。

今後のみなさんの学びや将来の進路を考える際の参考になれば幸いです。



左：講座1 考古学についての理解を深めるとともに、その先の進路についても考えていただきました。

右：施設見学 整理室で設楽町から出土した縄文土器の接合作業を見学していただきました。



左：講座2 土器・陶磁器についての講義。その後、土器の並び替えに取り組んでいただきました。

右：考古学実習 弥生土器の文様がきれいに写ったオリジナルの葉が完成しました！！

## 県立岡崎高等学校の生徒のみなさんが施設見学に来てくれました

調査研究課の城ヶ谷です。

7月27日に**県立岡崎高等学校**の先生、**生徒のみなさん**が進路学習の一環で施設見学に来てくれました。

最初に「**遺跡の調査について～考古学への招待～**」というテーマで、**発掘調査**や**考古学の方法**と**土器**・**陶磁器**の発達について講義をしました。

その後、縄文時代から江戸時代までの**各時代の出土土器**・**陶磁器**を実際に手に取って、**時代順に並べる**という**演習**に取り組んでもらいました。形や色、手触りなどを確認しながら、**真剣**なまなざしで取り組んでくれました。

**施設見学**では、展示室の他に**一次整理室**で実際に行われている**縄文土器**の**接合作業**等を見学してもらいました。細かな破片が繋がって、土器の形を成していく緻密な作業にとっても驚いた様子でした。



最後に考古学実習では、朝日遺跡出土の弥生土器の拓本を採ってもらいました。ほとんど初めての経験ながら、きれいな拓本ができ上がりました。

短い時間でしたが、みなさん熱心に、かつ楽しそうに取り組んでいただきました。

今回は考古学や土器から歴史を学ぶという取り組みでしたが、「教科書の知識とつながった感じがし、これからの授業も頑張りたいと思います。」とか、「普段、絶対にすることのないような最高の体験をすることができました。ありがとうございました。」といった感想が聞かれました。

これからもいろいろなことに興味を持って、自らの「学び」を広げていって欲しいと思います。



講義：考古学や土器に関するお話です

演習：土器の時代を当てるのは超難問！？



施設見学：教科書で見たような実物が並んでいます 実習：拓本って、意外に楽しい？！

## 県立知立東高等学校で出前授業を行いました

調査研究課の城ヶ谷です。

7月19日に県立知立東高等学校で出前授業を行いました。

2年生普通科日本史選択者3クラス127名に対して、2クラス2時限に分けて授業を行いました。

内容は「朝日遺跡から見たあいちの弥生時代」というテーマで、以下の2点を中心にお話をしました。

- ・発掘調査の方法や考古学の方法について理解する。
- ・日本有数の弥生時代の環濠集落遺跡である朝日遺跡について解説するとともに、人やものの流れを通じて、愛知県における弥生時代の暮らしを考える。



また、授業の終わりには実際に県内の遺跡から出土した縄文土器、弥生土器、旧石器時代のナイフ形石器、縄文時代の石鏃・石斧、弥生時代の石包丁や大陸系磨製石器、勾玉など、実際に手に取って観察していただきました。

生徒のみなさんに感想を書いていただきましたが、朝日遺跡の規模や内容に驚くとともに、実際に土器や石器に触れることができ楽しかったという感想が多数寄せられました。

なかにはもっと遺跡のことを調べたいとか、もっと愛知県の歴史を知りたいといった意見も見られ、嬉しく思いました。



実物の持つ魅力に触れ、教科書だけではわからない歴史の深さや面白みを感じていただければ幸いです。

## 第34回埋蔵文化財調査研究会を開催しました

調査研究課の城ヶ谷です。

7月2日（金曜日）に愛知県陶磁美術館講堂で第34回埋蔵文化財調査研究会を開催しました。

この研究会は、**県関係者及び市町村の埋蔵文化財担当者**に集まっていただき、前年度などに県内で実施された発掘調査のなかで注目されるものについて、調査担当者から発表していただく研修会です。



昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、紙上発表としましたが、市町村担当者の方々から、ぜひ発表を聞きたいというご意見を頂いておりました。

今年度も60名を超える参加希望があり、密を避けるため、より広い会場である陶磁美術館講堂をお借りして開催しました。

発表内容については以下の通りです。

- |                           |              |
|---------------------------|--------------|
| (1)西尾市岡島遺跡の発掘調査成果         | 西尾市教育委員会     |
| (2)豊橋市馬越長火塚古墳群の発掘調査成果     | 豊橋市文化財センター   |
| (3)岩倉市下田南遺跡の発掘調査成果        | 岩倉市教育委員会     |
| (4)豊川市三河国分寺跡の発掘調査成果       | 豊川市教育委員会     |
| (5)小牧市小牧山城跡の発掘調査成果        | 小牧市教育委員会     |
| (6)名古屋市名古屋城跡の発掘調査成果       | 名古屋城調査研究センター |
| (7)設楽町上ヲロウ・下ヲロウ遺跡の発掘調査成果  | 県埋蔵文化財センター   |
| (8)豊川市花の木古墳群・花の木遺跡の発掘調査成果 | 県埋蔵文化財センター   |

調査の概要と注目される遺構・遺物などについて、

発掘調査当時の苦労話なども交えながら、**最新の情報**をお話ししていただきました。

また、会場の一角では土器を持ち寄って、**意見交換が行われました**。

報告者および研究会に参加していただいた担当者の皆様、お疲れ様でした。

今後の埋蔵文化財保護行政推進の参考にしていただければ幸いです。



さてこの土器はどこ産のもの？



## 県立津島東高等学校で出前授業を行いました

調査研究課の城ヶ谷です。

6月17日に**県立津島東高等学校**で**出前授業**を行いました。

3年生普通科「総合的な探究の時間」のなかで「**ものづくり大国あいちの源流～土器から歴史を読み取る～**」というテーマで授業を行いました。

授業のなかで**縄文時代から江戸時代までの土器を持参し、実際に触れて観察してもらう体験**をしました。

生徒のみなさんはとても意欲的で、授業が終わった後、再び手に取って見ている生徒さんもいました。

授業について「土器などが愛知県で多く生産されていて、どの時代でもほぼ全国に広まっていたことに驚きました。」「資料集でしか見たことがなかったので、体験できてうれしかった。」などといった感想が聞かれました。

今回の出前授業が、今後の皆さんの探究活動に少しでも役に立てれば幸いです。



左：各時代の愛知県産土器・陶磁器について概説しました。 右：手に取って感触を確かめてもらいました。

## 東海テレビ「村上佳菜子の週刊愛ちっち」の取材がありました

調査研究課の城ヶ谷です。

6月16日東海テレビ「村上佳菜子の週刊愛ちっち」（毎週木曜日午後9時54分から午後10時まで）の取材がありました。

今回の取材は「本物に触れる歴史体験！愛知県埋蔵文化財調査センター」ということで、**当センターを取り上げていただきました！！**

展示室の他に普段はお見せしていない収蔵庫の中の様子も撮影していただきました。また、レポーターの学生さんに「高校生のための考古学サマーセミナー」で実施する**拓本実習を体験**していただきました。一生懸命取り組んでいただいて、とてもいい拓本になりました。

放送は**令和3年7月1日木曜日午後9時54分から午後10時まで**（再放送は**7月4日日曜日午前5時12分**から）です。

ぜひご覧いただいて、もっともっと当センターのことを知りたいと思っています。



奈良時代の須恵器大甕のとなりで



展示室の撮影





収蔵庫には遺物の入ったコンテナがいっぱい！ 拓本うまくとれるかな？

## あいち朝日遺跡ミュージアムへ遺物の貸出を行いました

調査研究課の城ヶ谷です。

4月21日あいち朝日遺跡ミュージアムへ遺物の貸出を行いました。

貸出遺物は清須市土田（つちだ）遺跡の方形周溝墓などから出土したパレス・スタイルの壺（写真下）です。

**パレス・スタイル**とは弥生時代後期から古墳時代初めにかけて、尾張地域を中心に見られる赤彩された土器で、ギリシャ・クレタ島のクノッソス宮殿から出土した「宮廷式（パレス・スタイル）」と呼ばれる優美な土器に匹敵するということから「パレス・スタイル」と呼ばれるようになりました。

多くがきめの細かい白色の胎土を持ち、繊細な櫛描文（くしがきもん）などによる文様帯や鮮やかな赤色顔料で飾られた華麗な土器です。この顔料はベンガラと呼ばれる酸化鉄を主体にしたものです。

弥生土器はシンプルで飾らないものが一般的であり、全国的にもこのような加飾された土器は特異な存在です（写真上：朝日遺跡出土壺（重文））。

パレス・スタイル土器は弥生時代後期、尾張地域を中心に流行しますが、古墳時代になると東日本を中心に全国へと広がっていきます。

関東地方ではパレス・スタイル土器を模倣した土器も作られています。この背景として、尾張地域の勢力の影響力が

関東にも及んだとする考え方もあります。

今回お貸した遺物は6月27日まで清須市あいち朝日遺跡ミュージアムで開催される企画展「パレス・スタイル-赤の土器-」で展示されています。

様々な形のパレス・スタイル土器が展示されていますので、ぜひご覧になってください。

→ 終了しました。



## 関連コンテンツ

- [愛知県埋蔵文化財調査センター](#)
- [事業の内容](#)
- [利用の案内](#)
- [アクセスマップ](#)
- [アーカイブ](#)
- [お知らせ](#)
- [活動報告](#)



[Tweet](#)

[LINEで送る](#)

[このホームページについて](#) | [個人情報の取扱い](#) | [免責事項・リンク](#) | [RSS配信](#)

## 愛知県

法人番号1000020230006

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

Tel: 052-961-2111 (代表)

**開庁時間**：午前8時45分から午後5時30分

(土曜・日曜日・祝日・12月29日から1月3日を除く)

※開庁時間の異なる組織、施設があります。

[県機関への連絡先一覧](#)

[県庁へのアクセス](#)

Copyright Aichi Prefecture. All Rights Reserved.